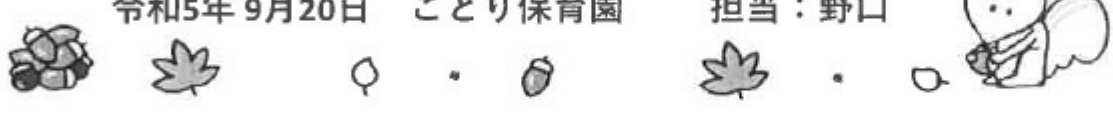




## ちゅうりっぷ組だより < 9月号 >

令和5年9月20日 ことり保育園 担当：野口



9月に入ってもまだ暑い日が続いていますが、朝夕は少し、季節の移り変わりを感じるようになってきました。

最近のちゅうりっぷ組は、歩くのを楽しんだり、ハイハイから保育者や物につかまって立ち上がったたり、伝い歩きから手を離して立ち、「アー、アー（出来たよ!）」と声に出して喜びを知らせます。

保育者が「立っち出来たの。嬉しいね。」と拍手すると、まわりにいる友だちも一緒に（やったね!というように）笑顔で手を叩いてくれます。このような子ども達の様子や”出来た・立てるよ”という自信に満ち溢れた姿や表情から、一人一人の意欲や成長が見られ、私達も嬉しく感じます。

そして、日中は、散歩をしたり園庭での遊びを、楽しんでいます。今までは、保育者に抱っこされたり、散歩車に乗っていた子も、靴を履いて遊び始めました。

まだ、靴に慣れていないので、少し気になったり、座り込んでしまう様子は見られますが、シャベルやカップを渡すと笑顔になります。

これからも、バケツやタライに水や砂を用意して、手を入れて触れたり、砂を握ったりして感触を楽しめるようたくさん遊んでいきます。

夏の疲れが出て来る時期です。引き続き、体調の変化に気を配り、元気に戸外遊びや散歩をして、秋を満喫していきたいと思います。

